

# キャンドルサービス

キャンプファイヤーが戸外で行われるのに対し、キャンドルサービスは室内でローソクをともしで行う営火の祭典であり、燭台の灯りの光と闇とのコントラスト、静寂さの中で神秘的な光を放ち厳粛なムードの中での歌、小さな光の中に思いを託す、などから青年を非日常の境地へと誘い、静かな中に強烈な印象と深い感銘を与えるものである。

このように印象的な一時を過ごす中で、青年たちに仲間との連帯感と活動への情熱を喚起するとともに、集い全体を集大成し得ることから、青年の集いにはぜひ必要なものである。

## 1. 計画実施について

- (1) 実施場所は、主に講堂（200名まで）と体育館（500名まで）です。（少人数の団体は暖炉の間で実施することも可能）
- (2) 事前に意義を理解させ、役割分担や出し物（スタンツ）等について確認して下さい。
- (3) 燭台・衣装・マイク等の貸し出しと使用方法は事前（16：00まで）に事務室まで申し出てください。
- (4) 床に溶けたローソクを落とさないよう注意して下さい。落ちた場合は危険ですので、必ず取り除いて下さい。

## 2. 用意するもの

- (1) 食堂で購入可能なもの  
ローソク大 130円・・・火の長、火の守 10本程度が適当  
ローソク小 10円（アルミホイル付き）・・・参加者分の人数分
- (2) 青少年交流の家で貸し出し可能なもの  
上下衣装（3組）、中央燭台、据え付け台、つえ、フロアーマット  
音響装置（エレクトーン・ピアノ・マイク・音楽テープなど）

## 3. 役割分担

火の長（1名）・・・団体の責任者など  
キャンドルサービスの責任者で、指導的立場にある人が望ましい。  
「火の意義」「今後の動機付け・要望」などの言葉を述べる。

火の神（1名）・・・参加者から選出  
営火を持って入場し、聖火の導入・消灯を行う。

火の司（1名）・・・司会者  
プログラムの進行と場の雰囲気とうまく処理することが要求されるので、即興的にムードづくりができ、明朗でユーモアのある人、更にソング・ゲーム・ダンスなどの指導のできる人がよい。

火の守・・・学校代表などのグループリーダー  
燭台への点火、仲間への分火を受け持つとともに、「誓いの言葉」「感想」「抱負」などを述べる。

詩の朗読・・・キャンドルサービスのプログラムの中で詩を朗読する係

照明係・・・プログラムの進行に合わせて光の量を調節する係

音楽係・・・ピアノ・エレクトーン等の演奏、CDプレーヤー・テープなどの効果を受け持つ係

会場係・・・集いの会場の設営・燭台・電灯・CDプレーヤー・カセットデッキ等

#### 4. 事前準備

物品の準備・・・ローソクの準備，燭台，手燭台，音響装置，火の神の衣装，音響装置など  
 スタッツやゲームなどに必要な道具

- 出し物の練習・・・ア 各出し物は5～7分程度にするとよい。  
 イ グループ全体で参加できるもの（ワンマンショーにならない）  
 ウ 清潔なもの，雰囲気大切に作るもの，観る人を楽しませるもの。  
 エ 参加者全員が楽しめるもの（ユーモアや健康的で創造性に富むもの）

の)

出し物（スタッツ）の例

寸劇・・・まじめな劇・昔話や名作・名場面・時事問題・パントマイムなど。

ナレーションを入れるとよい。

歌・・・合唱・合奏，替え歌等

ダンス・・・見せる踊り・インディアンダンス・ラインダンス

参加者全員で楽しめる踊り

ゲーム・・・見せるゲーム，ジェスチャーやインタビューゲーム

参加者全員が参加するゲームの指導

その他・・・体操，組み体操，ファッションショー，手品，ものまね，仮装等。要は，みんなと共に楽しめるもの，また創造性のあるものが望ましい。

クラス名		スタッツの題名	
内容(概要)		代表者氏名	
		必要物品	

上記の様式で出し物（スタッツ）の内容を事前に司会者に提出するとよい。  
 各係によるリハーサル（全体の流れ，特に火の動きに注意）

#### 5. 進行上の注意

司会者は，話をするとき言葉をはっきり，ゆっくりと話す。（高い声より低い声）

雰囲気大切に，あまり指示をしないようにする。（カメラ灯り等）

リハーサルを十分に行い，司会者と裏方との連絡を十分にとっておく。

立ったり座ったりするとき椅子ががたがたしないようにする。

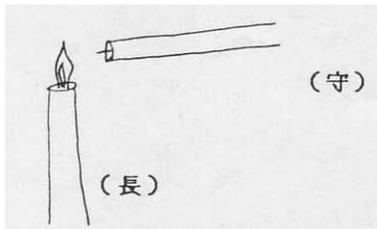
集いで必要な歌は，事前に練習する。

司会者の発言は必要最低限にする。

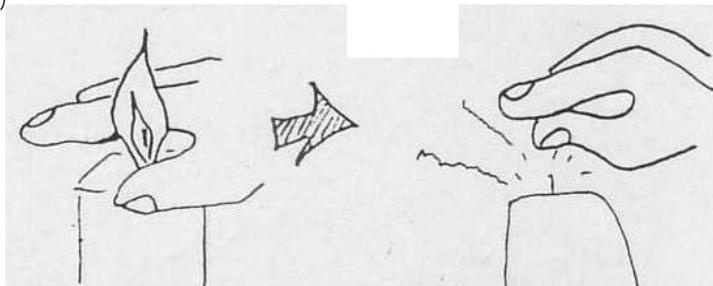
#### 6. 分火の方法と消火の仕方

火の長の差し出したローソクの上から火をもらい，火の長が差し出したローソクを引いたのを見てから高く掲げ，誓いの言葉を述べる。

点火の仕方



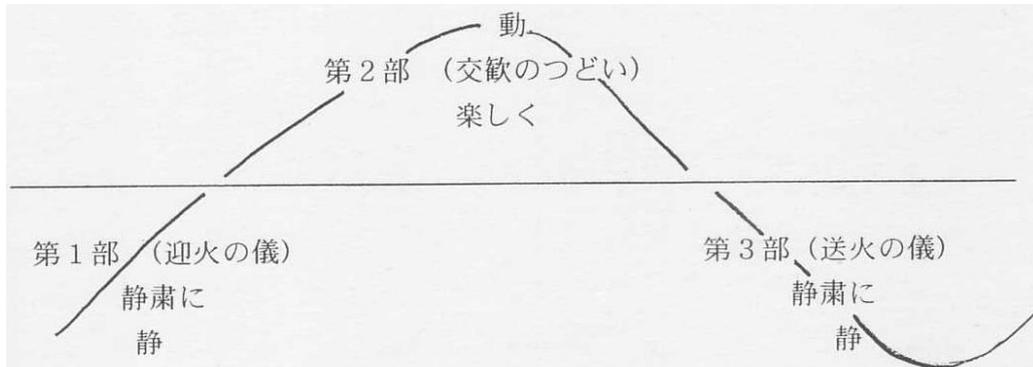
消火の仕方・・・指先で炎をつまむようにして消す。（その他に，手燭台のアルミ箔で炎をかぶせるようにして消す方法もある）



## 7. キャンドルの集いの構成

キャンドルの集いには、こうでなければならないという形式はありません。参加者の構成・場所・時期・研修の趣旨など様々な条件によって、プログラムの組み方や進み方も異なってくると思います。それらを考慮して、いっそう楽しく効果的なものに演出したいものです。

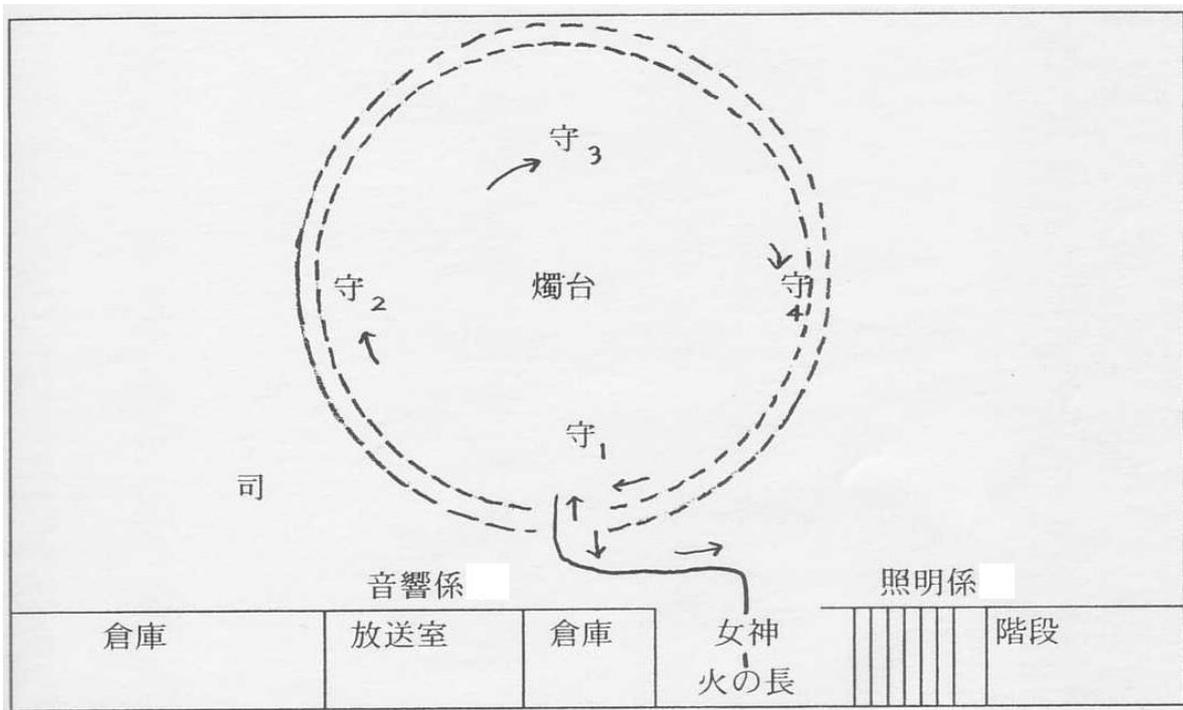
次に、学校関係に適した構成についての例を紹介します。



### 3部形式の場合

- 第1部 迎火の儀（火を迎えるセレモニー） 静粛に
- 第2部 交歓の集い（火を囲んで交歓会） 楽しく！！
- 第3部 送火の儀（火を送るセレモニー） 静粛に

## 8. 会場図(体育館の例)



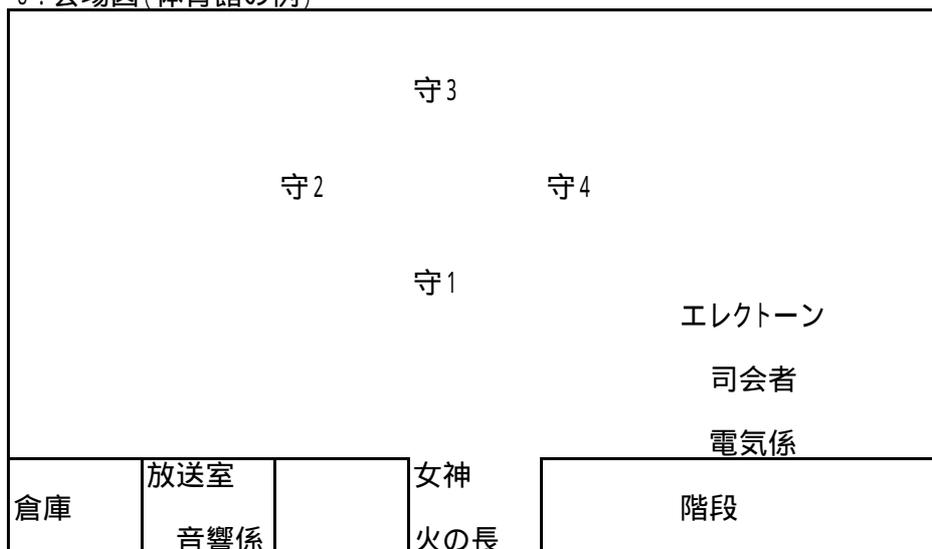
### 燭台を中心に円陣を組む

- 100人程度 一重円
- 200～250人 二重円（前列は座り，後列は立つ）
- 250～450人 三重円（前列は座り，中列は立膝，後列は立つ）

### 火の長，女神は通路に待機

参加者へのローソクは事前にアルミ箔でくるみ，クラス毎に分けておく。

8. 会場図(体育館の例)



燭台を中心に円陣を組む

100人程度 一重円

200～250人 二重円(前列は座り, 後列は立つ)

250～450人 三重円(前列は座り, 中列は立膝, 後列は立つ)

火の長, 女神は通路に待機

参加者へのローソクは事前にアルミ箔でくるみ, クラス毎に分けておく。

プログラム展開例

項目	係	内容	留意点
事前準備完了	レク	参加者を円陣隊形にする。 火の長・火の神・火の守・司会は所定の位置につく。	・室内の電灯は最小限つけておく。 ・参加者が入場するときBGM(静かな曲) エレクトーンでも可
キャンドルについての意義など説明	司会	キャンドルの意義, 役割説明, 流れの説明, 諸注意	
第1部 迎火の儀	司会	燭台を囲んだ隊形で, 入場係は立ったまま開会を待つ	会場を徐々に暗くする
消灯	電気係	完全に消灯	女神はローソクに火をつけて待つ
開会宣言	司会	『ただいまより, 学校の 研修による友情と親睦の輪を広げるキャンドルの集いを始めます』	
歌	司会 全員	「遠き山に日は落ちて」をみなさんと共に歌いながら, 火の長・火の女神をこの聖なる乗鞍山嶺よりお迎えしたいと思います。1番は歌, 2番からハミングでお願いします。」 歌からハミングに移ったら入場を始める。ローソクを持った女神は火の長を誘導しながら場内円陣の中を一周する。(会場図参照)	エレクトーン演奏者はゆっくり演奏する。 他に「夕焼け小焼け」「一日の終わり」など静かな歌
火の長 火の女神入場		歌からハミングに移ったら入場を始める。ローソクを持った女神は火の長を誘導しながら場内円陣の中を一周する。(会場図参照)	
分火及び 誓いの言葉	司会	『ここにお迎えした聖なる火を( )人の代表者に分火いたします。』 図2火の司によって合図が告げられたら, ( )人の火の守は, 長の前に整列し自分のローソクに女神から火を分火してもらい誓いを述べる。	
	司会	「第1の火」 第1の火を受ける火の守は, 火の長の前に進み一礼をする。	
	火の長	『友情のために, この火を与えます』 火の女神は, 火の守にローソクを与えます。	
	火の守	『私たちは, お互いの友情を深め, 人を愛する素直な人間になることを誓います。』	誓いを述べる火の守は, 右手を高くかかげて述べる。(以下同様に行う)
	火の守	(第1の火を受けた火の守が元の位置にもどってから)以下同様	誓いを言い終えたら一礼して元の位置にもどる。以下第1の火を受けた人と同様の要領で行う。
	司会	『第2の火』	
	火の長	『自由と責任のためにこの火を与えます。』	
	火の守	『私たちは, 自由を尊び, 責任感のある人間になるよう努力することを誓います。』	

プログラム展開例

項目	係	内容	留意点
火の守移動 点火宣言 点火 火の長挨拶 火の女神 燭台へ 歌 (点灯)	司会	『第3の火』 『自主と独立のためにこの火を与えます。』	火の守は誓いの言葉が終わったら、司の合図によりそれぞれ上図の所定の位置に進む。燭台の1mくらい手前で胸の前にローソクを構え点火の合図を待つ。  図3         火の長は2～3歩前に進み、挨拶をする。紙に書いたものを読むとき、火の女神がローソクで読みやすくする。   2番に入ったくらいから
	火の長		
	火の守	『私たちは強い心と身体をつくり、自立の精神を体得することを誓います。』	
	司会	『第4の火』	
	火の長	『未来を見つめる平和のために、この火を与えます。』	
	火の守	『私たちは未来を見つめ、平和を守ろう努力することを誓います。』 クラスが5～10クラスの場合は、以下第5第6と要領に従って行う。	
	司会	『今( )人の代表者のみなさんに誓いの言葉をのべていただきました。この聖なる火を中央の燭台に点火していただきます。』右図	
	司会	『点火して下さい。』	
	守	火の守は点火し、ローソクは燭台に置いて元の位置にもどる。燭台に進むとき、退場するとき火の守は同時に動く。	
	司会	『今、代表者によって中央の燭台に点火された火が赤々と燃え、明るい光をはなっています。(間をあける。)それでは、火の長より挨拶をいただきます。』	
火の長	『美しい北アルプスの山々が夕日にそまり、夜のとばりが静かにおりていこうとしています。人類は太古の昔より水と土はたやすく手に入れることができましたが、火の入手は非常に困難なものがありました。故に人類の歴史は火の歴史といっても過言ではないと思います。今、この乗鞍青少年交流の家に聖なる友情の火がともされました。今宵このともしびを囲んで自己を見つめ、友情と団結を確かめ、たゆむことなく前進し、一人一人の心の奥深くいつまでも燃えさかり、永遠の思い出となることを祈っております。』		
司会	火の長が挨拶を終えたら、ローソクを燭台において自分の席にもどる。 『みなさんと一緒に( )の歌を歌いましょう。』		
全員	「若者たち」「友よ」「こぶたぬきつねこ」「山賊の歌」など。		
電気係	歌の途中から徐々に点灯する。		

プログラム展開例

項目	係	内容	留意点
第2部 交歓の集い	司会	全員、席に座るように指示する。 全員がよく知っている楽しい歌(「幸せ 作ろう」「ハレルヤ」などのレクソング) 全員で楽しめるゲームなどを行って、 なごやかな雰囲気を創ってから『交歓 の集い』に入る。	
ゲーム		全員で行えるもの、道具をあまり必要 としないもの(ジャンケンゲーム、シン キングゲーム、ハンドゲームなど)	・リーダーはスムーズな進行を図 り、ロスタイムを少なくする。 ・リーダーは雰囲気を盛り上げるよ うに心がける。
クラス別出し物		準備を含め5～7分程度 出し物の間に簡単な歌やゲームを入 れる。	
フォークダンス		「ミザルー」「幸せなら手をたたこう」 「ジェンカ」等フォークダンス、レクリ エーションダンス	
第3部への移行	司会 全員	『楽しかった交歓の集いも終わり、これ から皆さんと共にキャンドルサービ スに移りたいと思います。( )を皆さ んと歌いましょう。1番歌、2番からハミ ングをお願いします。』 「ふるさと」「一日の終わり」「通りゃん せ」(男女交互)季節に合わせた静かな 歌でもよい。	・静かな歌 ・隊形が整ったところで参加者に ローソクを配布する。 ・全員燭台を中心にして円形にな る。 ・その他「楽しい集い」「四季の歌」 なども適している。
燭台の火を消 す	電気係 女神	歌の途中で消灯する。 ハミングに入ったら、女神は中央燭台 に進み、1本を残し消火する。1本の ローソクを持って長の位置までもど る。	ハミングは代表者への分火が終わ るまで続ける。
キャンドルサー ビス	司会	『乗鞍の山嶺から迎えたこの聖なる火 をみなさん一人一人に分火いたしま す。各クラスの代表者(火の守)は前 に出て下さい。』	
	火の守	同時に代表者(火の守)は、所定の場 所で2歩前に出て待機する。	
	女神	女神は1周しながら各クラスの代表者 (火の守)に点火して所定の位置につ く。	
分火	司会	『それでは代表の方、皆さんの仲間 に分火して下さい。』	静かにBGM(エレクトーンによる) を流す。 「夢をのせて」 分火を受けた代表者は右側の人 に点火、以後リレー式に点火す る。

プログラム展開例

項目	係	内容	留意点
	司会	『皆さん、ローソクの炎を見つめて下さい。蛍光灯や電球の光を見慣れている私たちですが、よく見ると大変きれいですね。いつか消えてしまうこの小さな火、風になびきながら逆らうことなく静かに燃え続けています。そして力一杯堂々と光を放っています。その小さな炎の中に自分を写してみして下さい。(間をおく)人それぞれに様々な思いがよみがえってくることでしょう。(間をおく)皆さんも今日まで育ててくれた父や母、家族のこと、時にはけんかをした兄弟のこと、そして親しい友のこと、忘れかけていた幼い日のことが炎の中に浮かんできます。そうです。幼き日の自分の姿が浮かんできます。(間をおく)皆さんで(母さんの歌)を歌い	全員に点火されたら、頃合いを見て静かな口調で…
	司会 全員 詩係	『「母さんの歌」を歌いましょう。1番歌、2番ハミングをお願いします。』  全員ハミングに入ったら くじけちゃいけない いつの日か母が言った 早く大きくなって 立派な人になれと その時が夢のようにやってきた そこには大きな大きな仕事がある そこには幼い日のように いつまでも甘えることはできない 悲しい時も苦しいときも くり返しやってくる だれどくじけちゃいけない ふまれても折られても 雑草のように絶えていくんだ そして乗鞍岳のごとく より高くより美しくよりたくましく そこにはきっと幸せが待っている 友よ明日をよぼう 限りなく前進のために 幸せのために	静かな曲を選ぶ。(「ふるさと」など季節に合わせた歌でもよい。)
	司会	『この集いにあたり火の長より挨拶をお願いします。』  『私たちを見つめてくれた情熱のともしびは、今静かに一人ひとりの胸にしまわれようとしています。皆さんは今この炎を見つめ何を考え、何を思いめぐらしているのでしょうか。火は美しさの中に、厳しさやたくましさ、さらにやさしさなど、多くのことを教えてくれたようです。1本のキャンドルから多くの仲間たちに広がっていったように、つまり一人ひとりが役割を持ち関係し合ってこそ、はじめて大きな炎となって燃え上がることができるのです。私たちの学校生活も同じことが言えると思います。共通の目標に向かって互いに努力し、共に支え合い、励まし合ってこそ真の友情が生まれ、素晴らしいクラスが作り出されるのではないのでしょうか。今日このともしびを一人ひとりの心にともし、厳しさの中にいたわりのある日々を送られることを願ってやみません。』(間をおく)	ハミングの曲にのせて語りかけるように。(各団体毎に適当な詩を選択するとよい。)  参加者の今後に勇気づけとなること、または要望するようなことを話す。

プログラム展開例

項目	係	内容	留意点	
歌	司会	『「今日の日はさよなら」を歌いましょう。1番, 2番は歌, 3番からはハミングをお願いします。』	「12月の誕生日」「四季の歌などでもよい。	
	司会	ハミングに入ったら消火に入る。 『1月生まれの方, 火を消して下さい。』『2月, 3月, 4月生まれの方, 火を消して下さい。』 (間をおく。) 『5月, 6月, 7月生まれの方, 火を消して下さい。』 『8月, 9月, 10月生まれの方, 火を消して下さい。』 『11月, 12月生まれの方, 火を消して下さい。』		
	司会	全員の消火を終えたら, 頃合いを見て「今日の日はさようなら」3番をリードよく歌う。 『赤々と燃えさかった意義ある火が, 今皆さん一人ひとりの胸の中にしまわれました。小さな1本のローソクの光が暗やみにともるとき, そんな小さな光であっても, 人々の心の中に限りない安らぎと暖かい思いの光を投げかけてくれました。私たちの持つ心のともしびは, お互いを暖めあい, 照らしあい, そしてそれが広く世の人々の心の中に入って, どんなにか人々を明るく楽しくすることでしょうか。今日のこの火は消えましたが, みんなで暖かく消えることのない心のともしびを, いつまでもいつまでもとし続けてください。』(間をおく)		3番への導入は, 司会が全体をリードする。
	司会	『皆さんとともに楽しく過ごしてきましたこのつどいも, 今終わろうとしています。明るく照らしてくれたこの炎をまた乗鞍のふところにもどしたいと思えます。』		エレクトーンにより「今日の日はさようなら」をBGMで流す。 BGMの曲は, その他適当な曲を選曲してもよい。
火の女神 火の長退場	司会 全員	BGMが静かに流れる中, 退場する。	「シャロム」「閉会の歌」などの曲  火の女神は火の長を先導しながら場内を一周して退場する。	
閉会宣言	司会	『以上をもちまして( )のキャンドルのつどいを終わります。』		
点灯	電気係	20~30秒くらいたってから点灯	ざわめきが出はじめた頃, 点灯する。	